

平成31年度県内大会実施要項の作成骨子について（修正）

30年度の大会実施結果を踏まえ、次の点を考慮した要項の原案を作成する。

2月11日開催の理事会において、意見の多かった事項については修正した。

1. 青森県シングルス選手権大会

(1) 組合せ

30年度は、参加者388人、総試合数473試合（U14女子118人、U14男子97人、96試合は、トーナメントとした）1コート最大数は28試合となった。このことから、リーグ戦を前提とするものの、トーナメント戦となる種別もあることを加味する。

(2) 大会開始時間

30年度の大会要項では、一律9時30分試合開始を想定しているが、大会開始時間を繰り上げる。この場合は、開会式開始時間、受付開始時間を繰り上げる。要項に明確に時間を記載する。

(3) 競技方法

試合は、すべて5ゲームで行う。

(4) 参加申込期日

参加者が多くなってきたことから、大会組合作成や大会準備に時間的余裕を持ちたいことから、開催日から10日前を14日前に変更する。

(5) 参加種別

種別が分かりにくいことから、明確に記載する。

一般（高校3年以上）U17（中3～高2）U14（中2以下）

2. 青森県ミックスダブルス大会

(1) 参加資格

ミックスダブルス大会のみに出場したい旨の申し出があり、そのためだけに会員登録を行い、地区には協会が存在しない場合の救済措置として、新たに「会員登録をしていない者」の参加を認めるよう大会要項を変更する。

その場合、参加料は1人2,000円とする。

(2) 参加申込期日

30年度は118ペアと参加者が多くなってきたことから、大会組合せ作成や大会準備に時間的余裕を持ちたいことから、開催日から10日前を14日前に変更する。

(3) 大会使用面数

30年度は一般15面・小学生5面で実施したが、試合数が多く、日没後ナイター対応で18時15分までかかった。10月は16時を過ぎると暗くなり16時50分からはナイター対応となる。（ナイターはN1～2コートは使用できない）また、急激に寒さも増してくることから、早めの終了時間を設定する必要

がある。現在の 15 面対応では、臨機応変の対応ができないため、小学生のミックスダブルス大会は別会場での対応をお願いしたい。

(4) 大会開始時間

30 年度の大会要項では、一律 9 時 30 分試合開始を想定しているが、大会開始時間を繰り上げる。この場合は、開会式開始時間、受付開始時間を繰り上げる。要項に明確に時間を記載する。

(5) 競技方法

30 年度は、一般 A (本戦)の進行が、コンソレ組合せの作成可能なまで進行したのが 14 時と遅く、このことが試合の終了時間が遅くなった一因となった。

このことから、一般 A (本戦)も

すべて 5 ゲームを基本とする。(但し、一般 A は準々決勝からは 7 ゲームとする。参加ペア数により、5 ゲームのままもありうる。)

リーグ戦を前提とするが、参加申込数によりトーナメント戦もありうる。

3 . 青森県下インドア選手権大会

(1) 組合せ

30 年度一般の部において、当日の受付時において、東北インドア参加の可否を確認したところ、参加資格を得ても東北インドアには参加できない者があり、組合せ上シード選手だったため、組合せに齟齬(そご)が生じてしまった。このことから、31 年度からは、参加申込の段階で東北インドア出場の可否を記入する欄を追加し、その申告を前提に組合せを作成する。

(2) 大会参加申込書<様式 4 >に「様式 4 県インドア用」を追加する。

4 . 第 74 回国民体育大会青森県選考会

(1) 1 次選考・最終選考という開催方法ではなく、2 日間を通した選考会とする。

(2) ペアによる申込ではなく、個人による申込みとする。

(3) 昨今のゲームは個々の身体能力の高さやスキル、チームとしての戦略が勝敗を分ける要因となっていることから、選考方法をフィジカルテストとダブルス(ペアを入れ替えて行う)・シングルスによる総合評価で選考する。

(4) ミニ国体派遣選手は、成年の部は 6 名を基準とする。

(5) 昨年同様、選考会が西日本学生と開催日程が重なっているため、救済措置を講ずる。(昨年度同様の内容)

(6) フィジカルテストは、シャトルスタミナ、立幅跳び、往復走、スパイダーテスト等を想定したフィールドテストとする。

(7) 国体最終選考会は、可能な限り、高体連の最終選考と時期と場所を合わせて実施する。これは青森国体の選手育成・強化・選考における統一感をもった取組みとして行う。

(8) 大会参加申込書を「様式 3 」に変更する。

5 . チャレンジ 2 0 2 5 チーム対抗大会の開催 (第 1 回) の新設 とりやめ

青森国体に向けて、日本連盟が推進する競技者育成プログラムによる普及育成を目的とした大会として新設する。本大会は、国体 (国民スポーツ大会) で採用されている「 2 ダブルス・ 1 シングルス」の 5 名による団体戦で、アンダー別の 2 日間の大会とする案で理事会に付議したところ、異論が多かったので、大会そのものを変更する

5 - 1 . 青森県クラブ選手権大会 (第 1 回) の新設 < 変更 >

本大会は、国体 (国民スポーツ大会) で採用されている「 2 ダブルス・ 1 シングルス」形式で行う団体戦で、青森国体へ向けた機運を醸成する。

(1) 開催時期

6 月 2 2 日 (土) 男子の部、女子の部

(2) 開催場所 新県総合運動公園テニスコート (砂入り人工芝 20 面)

(3) 参加資格・チーム編成

会員登録した選手で編成されたチームであること (県外チームも可)

ただし、勝利至上主義に偏った所属チームの異なる選手により編成されたチームについては参加を受け付けない。

6 . 第 6 9 回東奥日報杯県下総合選手権大会

(1) 参加申込期日

30 年度は 123 ペアと参加者が多くなってきたことから、大会組合作成や大会準備に時間的余裕を持ちたいことから、開催日から 10 日前を 14 日前に変更する。

(2) 第 74 回全日本選手権大会が岩手県北上市で開催され、参加枠が 1 ペア増えて 3 ペアとなるので、同大会を選考会と位置付ける。(継続)

7 . 大会参加申込書

(1) 氏名欄のふりがなを省略する。

(2) 所属欄は、会員登録をしている団体名を記載する。

大会プログラムの所属名・会員登録団体名・ゼッケンが一致するようにする。